



地域の発展と水産業の新たな道を切り開くことを  
目的に「水産グループ21」がスタートしました



黒沢一成 議員

## 財政問題

# 高額な退職金を減らせ

## 町独自のものではない

**質問** 沼崎町長は来月で任期を終え退職金をもらう。報酬月額額の二〇・四カ月分は、一般のサラリーマンと比較してかなりの高額である。

私は沼崎町長をこれといった仕事をしなかったサラリーマン町長と評価しているが、退職金に見合う仕事を四年間でしたと考えるか。

**沼崎町長** この四年間、時間的、体力的に全力投入してきた。総合発展計画を中心にハード事業、ソフト事業とも多くの実績を上げたと自負している。特にソフト面については問題意識を持っていた部分についてはほぼ実施できたと思う。また時間外の会議、懇親会、イベントなども多く業務であったと考える。

**質問** 厳しい財政事情を考え特別職の高額な退職金を見直す考えはないか。

**沼崎町長** 退職金は盛岡市を除く県内全市町村が岩手県市町村総合事務組合に

おいて共同処理している。支給率は事務組合条例で決まっており、町独自で変えることはできない。

なお町長で二・五%、助役収入役でそれぞれ一・五%の引き上げが本年四月から実施されている。

## 産業振興

# 弱電下請けのPRを 特長を生かし企業独自で

**質問** 町内の雇用事情は相変わらず厳しい。企業の誘致も厳しい状況は変わらない。町内には弱電の下請け業者が数社あるが、営業に四苦八苦しているという。企業誘致の働きかけだけではなく、このような業者のPRはできないものか。

ている。営業は企業の特長や他社との差別化を前面に出し自社をPRするものがあり、町が容易に企業のPRをできるものではない。また、弱電下請け企業だけをPRするわけにはいかない。近々、県と商工会などと合同で町内の主な企業を訪問し、経営状況を把握することになっている。その中で企業PRなどについても聴取し、町として応援できるものがあるか検討したい。

## 町の考えを聞く